

会長 藤井 信
 新潟県山岳協会
 長岡市学校町3-11-7
 TEL 0258-32-4835

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 横山征平
 岩船郡関川村下関1100-1
 T/F 0254-64-0469

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

謹賀新年

加盟団体の更なる躍進・中国青海
 省登山協会との兄弟友好協会締結十
 周年の記念式典と記念登山・〇九年
 国体第六十四回新潟県開催に向けて
 の準備と選手役員強化の年にしたい。

新潟県山岳協会会長

藤井 信



明けましておめでとござ
 います。

新春を迎え、謹んで会員の
 皆様のご活躍とご健康をお慶
 び申し上げますとともに、新
 山協に対する温かいご支援と
 ご協力に心から御礼を申し上
 げます。

多様化するニーズのなか新

山協が抱える懸案事項も多々
 ありますが与えられた紙面の
 制限もあり、現在、対応して
 いる行事を二つ述べて、ご理
 解とご協力をお願いします。

※海外登山委員会について

新山協と中国・青海省登山
 協会と兄弟友好協会を締結し
 て、十周年の節目を迎えます。

昨年十一月、今後の友好活
 動方針の確認、記念式典の事
 についての打合せのため訪中
 してきました。

記念式典、記念山行等の行
 事については、小林海外委員
 長、片桐総務委員長から、詳
 細の計画を提案致します。

多くの会員が容易に参加が
 可能な計画をお願いしてあり
 ます。楽しみにしていただき
 ます。

※国体委員会について

二〇〇三年、第二十四回北
 信越国体、二〇〇八年、第二
 十九回北信越国体新潟大会と
 二回の北信越国体を主管開催
 後、二〇〇九年には、ご承知
 のように二巡目の第六十四回
 国体新潟大会の開催地であり
 ます。

新潟国体については、競技

団体は勿論のこと全県民挙げ
 ての祭典であり、大会であり
 ますので、成功させなければ
 なりません。

二巡目の国体開催に当たり
 本県では、一九九九年には、
 スポーツ振興室国体開催準備
 班を立ち上げ、各市町村と競
 技団体に説明するとともに準
 備を進めてきました。

新山協も一競技団体として、

大会の成功に込めるべく、こ
 れまで検討と論議を積み重ね
 てまいりましたが、今後、新
 潟国体に向けて多くの課題に
 取り組み、数多くのハードル
 をクリアしながら、ひたすら
 前進するのみとなりました。
 競技施設のこと、指導者と

役員の養成、選手の発掘と育
 成、強化、また、開催市町村
 との強固の連携が重要であり
 ます。

特に、本大会を成功させる
 には、県高体連登山部との強
 固な連携が最大の鍵となるこ
 とと確信しております。

本年(二〇〇二年)第五十
 七回国体高知大会から、少年
 男女ともに縦走競技とクライ
 ミング競技の二種目で、天皇
 杯、皇后杯を競うことになり
 ました。

クライミング競技は、全国
 的レベルを視野に入れたとき、
 雨、雪、寒さと気温等の気象
 条件に左右されず、屋内常設
 施設で、常にトレーニングに
 取組めることが大切でありま
 す。

選手諸君が、悔いがない競技
 ができ存分な活躍ができる環
 境作りを急がなければならま
 せん。

関係各位のご理解とご協力
 を賜り、成功させたいと念願
 しております。

年頭に当たり、加盟団体の
 ご発展と、今年も会員皆様が
 健康的で楽しい登山でありま
 すようご祈念申し上げます。
 ごあいさつと致します。

北信越五県連絡協議会報告

石川県内灘町で開催

国体山岳競技種目来年から

縦走とクライミングに

去る十一月十七・十八日の両日石川県で開催され、新潟県山岳協会遠

藤理事長に出席してもらった。

国体山岳競技も時代とともに進化し、本来の登山思想から遠くなっていくような気がするが。

晩秋の11月17日～18日の日程で日本海に面した内灘町において石川県の当番で開催された。国体関係の議題が主の協議会であるが、二巡目国体を控え、競技力向上を迫られている本県にとつては、他県の活動状況を知るには絶好の機会であった。

(1) 第22回北信越国体山岳競技の総括(富山県)

役員に実施要項の周知不徹底から反則行為があったこと、成績発表表で出場選手名の間違いがあったこと。クライミング競技でピレーヤーの人員確保が大変であったこと、14

年度からは少年の部にも加わるので支援体制が必要である等大会運営における要項の周知、体制等について問題点を理事長から報告があった。

(2) 第56回宮城国体山岳競技の総括(各県)

本大会に参加及び応援した役員から各県における成績、活動分析等が報告された。特に縦走競技においては、走力に力を持った選手、加えてコースを熟知して走る選手が入賞するという結果が顕著に出た大会であった。ただ単に一般ロードで走り込むだけでなく、コースを熟知し、負荷をかけ

ての走り込みをした者でないとならない優勝タイムであった。今大会で踏査競技が無くなるが、少年の部にとつては強化の段階から山岳全体的に学ぶという観点から、有効であったのではないかという発言もあった。

(3) 第23回北信越国体山岳競技の予定について(福井県)

平成14年7月27日(土)開催日程
開会式・クライミング競技
7月28日(日)縦走競技・表彰式
開催会場

クライミング競技

福井県立クライミングセンター

縦走競技

一乗谷・白椿山林道コース

この他に競技の日程、審判員の人数、負担金、選手起用等実施案について福井県から概要説明があった。踏査競技の廃止により開催日程を3日間から2日間としたこと、選手起用では3人1チームで2競技とし、1人が2競技で、2人が1競技で行うこと、少年のクライミング競技方法については、現行の競技規則に準じてオンサイト・トップ方式とするが、日山協の方針待ちとする等大筋の合意が得られ、最終的には五県代表者会議で決定することで了承された。なお運営上の注意事項、協力内容等については、各県の委員及び監督は、要項等を熟読して問題等を生じないように役員及び選手への周知、指導をお願いしたいとのことであった。

県体の状況については、予選会で一本の県、市町村対策大会を開催して選考している県とさまざまであった。高校

生参加の多い県、中高年者の多い県、女性参加の少ない県と選手確保に苦勞されている状況であった。

(4) 平成13年度地区別審判員研修会について
14年の2月中下旬に開催予定としているので、12月の早い時期に各県に連絡するので多数の参加を待っているとのこと。本県においては、二巡目国体対応ということもありますので、指導員有資格者は本研修会を受講していただくようお願いいたします。

(遠藤記)

原稿募集

- 一、私の登山形態
- 一、登山道情報
- 一、私のチャレンジ
- 一、用具について

思うこと

13字33行以内

中国青海省登山協会 表敬訪問記

海外登山委員長

小林 重一

11月17日～25日の日程で、中国の青海省登山協会及び北京の登山関係者を表敬訪問しましたので報告します。
メンバーは長岡ハイクの藤井信協会長、片桐一夫総務委員長、高橋欣弘氏、私の4名で交流を深めて参りました。

現在、青海省、特に西寧市は中国の西部大開発政策により大きく変貌しつつあります。藤井会長は10年来訪西しておりますが、その変わりようにおどろいておりました。
2002年には新潟県山岳協会と青海省登山協会の兄弟



白亜紀花崗岩が海岸より山地まで広く分布し「笹川流れ」を形成。

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

⑪ 県境北部の山地

細長い新潟県の両端は、山陵が海岸線まで迫り、直接日本海に没しているが、その地質構造は、かなり異なっているのです。

県北の山塊は、朝日山地から日本海に至るミグマイト帯（片岩・片麻岩等の変成岩と花崗岩の混合帯）と、未変成の小川草水型白亜紀花崗岩が、笹川流れから新保岳・鷲が巣山・光禿山を含めて広範囲に分布しています。

これらの地域は、大部分が地下深部でマグマが固化した酸性深成岩で、石英・長石・黒雲母などの造岩鉱物から成っているのです。

ミグマイトは、深成岩が高圧下で変成作用を受け、棚倉構造線周辺に圧砕岩となって発達しています。

日本国は、県北を代表する伝説の山として親しまれてきましたが、地下では激しい地殻変動を受けてきました。

名勝笹川流れの奇岩も、1億年の歳月をかけて地球深部より姿を現し、日本海の荒波に削られて現在の見事な景観を創っているのです。

協定10周年を迎えます。
今回の訪西では各地の視察その他にその記念事業について意見交換を行われました。中身の濃い充実した日々でしたが、その一部を報告します。

(同行者)
青海省登山協会 高成學 副秘書長
林海濤 通訳
李衛東
李貴青 運輸部ドラ
イバー

(1) 日程
11/17 新潟↓成田↓北京
11/18 北京↓西寧 日程の打合せ
11/19 青海省登山協会の歓迎宴
11/19 専用バスでターム寺見学
ラージュ山(4469m) ラー
ジ峠B・Cを經由して李家
峡ダム見学
11/21 冷龍リン52
54m、仙米大山4



353m地域を經由して西寧へ。途中登山対象としてガンシカ峰を望み、その可能性を探る。未登峰として5200mは中高年にとって魅力あるのでは？
11/22 青海省、馬副省長との会談両協会の2002年友好交流計画について協議
11/23 青海省博物館の見学 歓迎レセプション
西寧↓北京
11/24 北京滞在。
登山関係者との交流懇談会。
11/25 北京↓成田↓新潟
2002年友好交流計画 兄弟協定10周年を迎えての

記念事業や式典をどのように行うか、新潟から登山隊を出すことや青海省からの来日などの意見が交わされたが、これから具体的に検討を重ねぜひ実現させたいと思います。

青海省登山協会でも積極的な意見や姿勢が見られ、今後の両協会の友好と発展を願うものです。

(3) 私は今回がはじめての訪西でしたが、中国の活気に触れ開発と経済力の成長を痛感しました。登山やトレッキングなどの分野においてもパンフレットやサービスなど着々と設備を進めています。ここにすべてを紹介できないのが残念ですが、機会あることに青海省の山々を中心に観光などを紹介していきたいと思えます。個人的には少々酒を飲みすぎたことを反省するとともに、今後も多くの人を訪問して頂きたいと切に願うものであります。

『国体カンパ』

御礼

前号からの続き
朝日山岳会



原住民 片桐一夫



今年はこの風景を見に行きましょう (中国青海省)

編集ことうき

▲明けましておめでとうございます。こよみも換わり新しい年を迎えました。今年も会報委員会の皆様のご支援宜しくお願いします。

▲さて、昨年は皆様方にはどんな年だったでしょうか。目標以上の山行ができた方、仕事に追われ目標の半分にも及ばなかった方、山への情熱も薄れてきた方さまざまであったのではと思います。

今年には心機一転がんばっていきましょう。

▲二巡目新潟国体(平成20年)山岳競技開催会場も決定しないまま越年しましたが、今年からは早いうちに決めていただき諸準備に入りたいものです。本県選手の上位入賞を目指して選手強化の課題もあります。

▲山は本格的な冬山となりました。冬山登山を計画されている方は気象には充分注意され事故の無い楽しい山行にしたいものです。

初心者は里山の安全な所でワカンを着けたり、ラッセル体験をしたり、雪慣れから始めることも楽しいものです。

(征)

登山・アウトドアの専門店

ICI 石井スポーツ
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025) 243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー

Mountain & Outdoor
Parr Mark

パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL 0258(37)1200・FAX 0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>